

技資3939

DボンドーOS 施工の手引き

株式会社 大建化学

愛知県豊川市新桜町通3丁目30番地5

TEL 0533-86-5625

DボンドーOSは、特に水中、温湯中、耐水性を必要とする浴室の壁廻り等の耐水性を必要とする箇所に、タイルや石材を張り付け施工するための商品です。

タイル張り用の接着剤は、多種多様に市販されていますが使用方法が簡単で低価格施工が出来る商品です。

#### DボンドーOSの特徴

- (1) セメント量を加減する事により、張り付けモルタルの粘度を自由に調整することが出来るので、軽量タイルから重量タイルまで簡単に施工することが出来ます。
- (2) 耐水性、初期接着力は、他の接着剤に比較して強力です。
- (3) 密着性が良く早期に強度を生じます。
- (4) 湿式、乾式下地の両方に施行する事が出来ます。
- (5) 目地込み時間が短縮できます。
- (6) 既設タイル面にタイルONタイル施行が出来ます。
- (7) 水性エマルジョン樹脂使用しているので火気に安全です。

#### 標準施行、混練方法

- (1) DボンドーOS 100に対してポルトランドセメント70-100（容積比）
- (2) レンガ等重量物はDボンドーOS 100に対し130位の固練り張り付けモルタルを使用して下さい。改良圧着張り施行をして下さい。
- (3) 通常はポルトランドセメントを使用しますが、目地材等の関係で白色セメントも混練出来ますが凝結時間が早いので練り置き時間を短縮して使用して下さい。
- (4) 下地調整用に合板、ボード類等に使用する場合は、DボンドーOS 100に対しセメント70位の軟らか目に混練して下さい。
- (5) 練り置き時間は30分-40分以内に使用して下さい。
- (6) 張り付け時間は10分-20分以内で皮張り状況を確認しながら施行して下さい。
- (7) 水又は異物の混練は絶対に避けて下さい。
- (8) セメント添加は2回位に分けて混練して下さい。
- (9) 合板、ボード類、タイルONタイル等に使用する場合はセメント量を減らした軟らかめの、DボンドーOSモルタルで少し櫛目を立てて、しごき塗りをして下さい。

#### 下地について

- (1) 下地に付着している埃、油脂、レイタンス等の接着の妨げになる物は良く清掃して下さい。
- (2) タイル下地モルタルの養生期間は夏季7日間冬季10日間程度養生が必要です。
- (3) 含水率の高い下地へのタイル張り施行は避けて下さい。
- (4) 広い面積にタイル張りを四面に施行する場合は、四隅をVカットにしてコーキング

目地を入れて下さい。

- (5) タイル張り仕上げ精度はタイル下地が影響します、平滑に仕上げてください。
- (6) 下地モルタルの不陸箇所、凹凸部の調整は、仕上がり精度に大きく影響しますので平滑に仕上げてください。

#### 施工上の注意

- (1) 下地に強く押しつけるように鋺を使い、3mm－5mm 目の櫛目を入れて下さい。
- (2) 櫛目は、タイル張り直前に入れ、タイルを張り付けタイルを強く押しもみ込むように張り付けて下さい。
- (3) 塗りつけた張り付けモルタルが皮張りし乾燥した場合はかき落とし新しい張り付けモルタルを塗り直して下さい。
- (4) 作業中張り付けモルタルが、張り付けタイル表面に付着した場合はウエス等で直ちにふき取って下さい。
- (5) 合板、石膏ボード、ALCパネル等弱い下地の開口部付近のタイル張り施行は改良圧着施行にして張り付けて下さい。
- (6) 吸収率の高いタイル等では、少し水湿して下さい。
- (7) 大型タイルの施行は金具を併用して下さい。
- (8) 張り付けモルタルを厚付けした場合は、凝結硬化に時間を要します。完全硬化硬化には5日以上の養生期間が必要です。
- (9) セメントモルタル系張り付けモルタルは薄塗り施行は剥離事故の原因になります。

#### 保管について

- (1) 必要量取り出して後密封して保管して下さい。
- (2) 直射日光を避け、冷暗所に保管して下さい。
- (3) 冬期間は凍結の心配があります保管に気を付けてください。

使用できるタイル類、適用箇所、不適箇所、不適用下地等の問題箇所は当社カタログを参考にして、安心安全施行に心がけて下さい。